

〔所 感〕

長崎市議会議員 西田 みのぶ

## サントス市姉妹都市提携40周年記念公式訪問団報告書

### 【はじめに】

今回、「サントス市姉妹都市提携40周年記念公式訪問団」で、長崎市親善訪問団の一員としてブラジルへ派遣して頂き、大変光栄であり貴重な体験をさせて頂きましたことに感謝致します。今回の訪問の報告と感想を記します。

### 1、出発（8月26日）

#### （1）壮行会

渡航に先立ち、長崎空港で全員の壮行会を行いました。田上市長や鶴田副議長の挨拶などがあり、それぞれ笑顔でも緊張はあったようでしたが、ロビーでサッカー協会の横断幕に送られ、選手たちは集合写真やそれぞれの写真を取り合うなど微笑ましい光景でした。



### 2、パリ乗換・サンパウロ着（8月27日）

現地時間の早朝4時15分に人もいないドゴール空港に到着、夜も開けない空港で乗換まで約7時間弱の時間を過ごすのは大変との事で、添乗員さんのはからいで凱旋門視察を行うことになり地下鉄で移動しました。（それでも空港で2時間近く始発の地下鉄を待つ）

地下鉄内では、朝早くから働きに出かける人々の様子、日本と比べ国籍が違う人たちの乗り降りが多いことなど、テレビ見られないパリの朝を体験しました

サンパウロ空港では、ブラジル長崎県人会の川添会長他多くの皆さんの歓迎を受けビックリしました。初対面だということを忘れるほど親しい出迎えであり、長旅の疲れも忘れるほどホッとした一時でした。



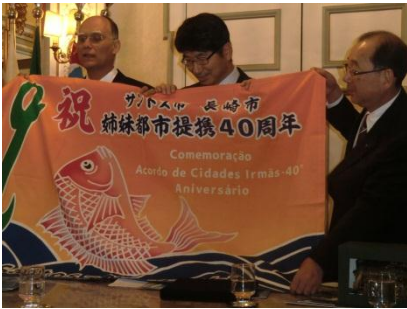
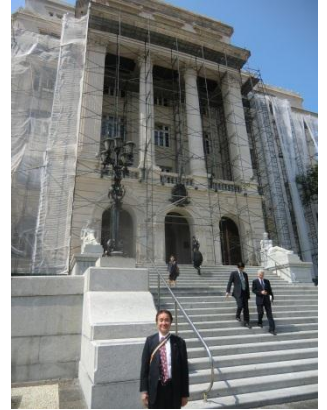
## 【サントス市行事】

### 3、サントス市姉妹都市提携40周年記念行事（8月28日）

40周年記念行事の前に、サントス市長ジョアン・パウロ・タバレス・パパ氏を表敬訪問し意見交換を行いました。他には、日系市議会議員中井氏や市議会議長も加わり情報の交換を行いました。中井議員は市長や長崎県人会の方々からの信頼を受けていると共に、日系人と行政のパイプ役として頑張っているようで。

記念行事では、公式訪問団全員出席の中、長崎市の概要や水産、サンパウロ市の概要などの説明が行われ、その後両市から記念品の贈呈が行われ、長崎市は大漁旗と2年後となりますが、路面電車1両（目録に写真とハンドドル）を贈呈しました。パパ市長は、路面電車の贈呈に大変感激され、長崎からの輸送を楽しみにしています。

記念式典後観光路面電車に乗車し、サントス市内を電車の中から視察しました。2年後長崎市の路面電車がサントスの街を走ると思うと私自身ウキウキしながら街の景色を見ていました。



### 4、ブラジル長崎県人会・サントス市主催原爆写真展オープニング（8月28日）

日本移民ブラジル上陸記念碑に隣するサーフィン博物館で『原爆写真展』のオープニング式典が行われました。

姉妹都市の提携、交流は世界平和実現に大切な役目を担っており、両都市の結びつきを強くしていきたいとのコメントも川添会長やパパ市長より行われました。会場には大勢の見学者が訪れ原爆の悲惨さに魅いていました。このような写真展示は今後も必要だと思います。



## 5、サントス日本人会訪問（8月29日）

サントス日本人会の施設を訪問し、土井紀文セルジオ会長の案内で館内の説明を受けました。館内は日本文化の匂いが漂い、日本を大切に継承している姿勢が伝わります。皇室の写真、日本の書物がぎっしり詰まった書棚、弓・剣道などの武道の道具など、この施設は、サントス市内の日本人（日系人）の拠点を感じました。サントス日本人会はブラジルでは古く、戦前から設立しており、戦時中ならびに戦後の苦難を乗り越え今日に至っていると事です、日本人の心の強さを学びました。



## 6、少年サッカー団とサントス FC との交流（8月29日・30日）

### (1) サントス FC 歓迎レセプション（8月29日）

サントス FC リベイロ会長の招待で、田上市長・鶴田副議長をはじめ少年サッカーチーム全員でサントス FC のホーム競技場 1 階で、歓迎レセプションならびに朝食会に参加しました。歓迎レセプションでは、リベイロ会長からサッカーによる両市の友好、少年サッカー団への歓迎の挨拶が行われ、双方のプレゼントの交換や記念写真、和気あいあいの朝食会など、歓迎ムード一色でした。



### (2) 少年サッカー親善試合（8月29日・30日）

少年サッカー団の親善試合は、U15 と 29 日に U14 とは 30 日に行われました。私たちも両試合を観戦、応援むなしく初日は4-0でサントス U15、2日目は5-1でサントス U14が勝ちました。初日は疲れと少し遠慮が見られ本来の力は100%出ていなかったようでしたが、二日目の1点は素晴らしいシュートで少し気持ちがスカッとしました。

その後の、サントス FC の施設案内やプロのサッカー選手の練習風景、トップ選手との記念写真など手厚いもてなしを受け感激しました。

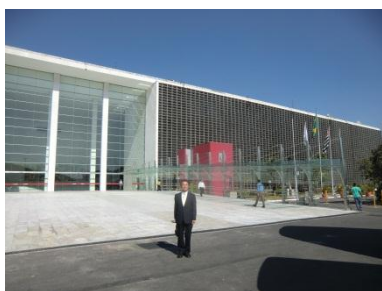


## 【サンパウロ州行事】

### 7、サンパウロ州議会訪問、ヤクルト主催歓迎昼食会（8月31日）

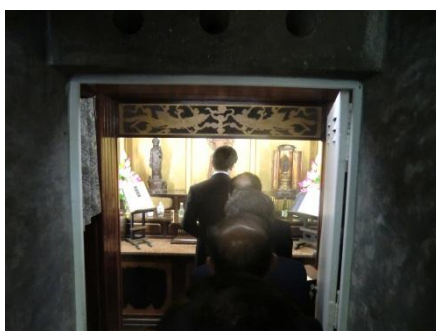
サンパウロ州議会で長崎県・議会と合流、サンパウロでの行事を合同で行いました。

まず、州議会を訪問し、サンパウロ州議会の日系のジョージ・ハトー副議長より、平和問題や日系人等の話があり、その後中村知事、田上市長の挨拶が行われました。その後議会会場の視察、昼食は、ヤクルト商工株式会社の貞方賢彦会長（ブラジル長崎県人会顧問）、天野一郎社長のご招待で昼食をとりながら歓談を行いました。



### 8、日系人先没者慰霊碑参拝・献花（8月31日）

サンパウロ市イピラプエラ公園内の”日系人先没者慰霊碑”を参拝、代表による献花を行いました。その後慰霊碑下にある霊安室でのお参りをしました。



### 9、在サンパウロ日本国総領事日系社会事情説明（8月31日）

サンパウロ市にある在サンパウロ日本国総領事館で、小林雅彦主席領事よりブラジル経済及びサンパウロの概要について説明を受けました。

世界第5位の人口や国土を持つブラジル国の潜在的な経済力と今後の展望、世界経済に大きな影響力を持つ豊富な資源を有するブラジルを世界がどうしていくのかなど、世界の目が南米へ注目されている実態を垣間見る思いでした。

また、そのブラジルの中心がサンパウロ州であり、政治的にも経済的にも大きな影響力を持っている、その中で日系人の活躍が大きいなどの説明がありました。



## 10、海外技術研修員・県費留学生との懇談会・長崎県人会との懇談会（9月1日）

海外技術研修員との懇談会では、ブラジル県人会役員、長崎県海外技術研修経験者ならびにサンパウロ州教育局の皆さんが出席、「若い人たち（日系4世、5世など）は平和活動や日本文化の継承が必要であるが、ポルトガル語が主流なため日本語が忘れられかけている、ブラジル国内での継承は限度があるので一人でも多く日本で勉強させたい。長崎県は近年一人しか受け入れていない、人数を増やしてほしい」と川添会長より挨拶がありました。

それに対し中村知事より、「必要性はわかるが、技術研修は県単独事業であり財政的に厳しい」との回答がありました。その後の長崎県人会との懇談会で、夏休みなどを利用したホームステイなどでの受入れの提案もあり、長崎として今後検討することとなりました。

また、研修経験者からは、大変なこともあったが研修が多いに役だった、この研修の今後の継続と日本の子どもたちもブラジルで経験してほしい、などの意見が出されました。

サンパウロ州教育局からは、サンパウロ州には1年から5年生約700名が通学している「長崎県小学校」があるが、長崎の学校との交流を望んでいる。互いに交流し合い次世代につなげていけたらと思うし、実現に向け州教育局も後押しをしたい」との申し入れがありました。

田上市長は、「交流する長崎市の学校を決め連絡したい」との前向きな発言を行い、後日市長は滞在中に、この実現に向けて長崎県小学校を訪問しました。

また、2014年長崎国体に合わせ、長崎を訪問したい、毎年7月に開催している“日本まつり”に長崎からも出店してほしいとの要望もありました。



## 1 1、ブラジル長崎県人会創立50周年記念式典ほか（9月2日）

サンパウロ市北海道協会交流センターで、「ブラジル長崎県人会創立50周年記念式典」ならびに祝賀会などが開催されました。式典には、関係者約200名が参加、それぞれの行事進行に手作りの暖かさを感じました。

私たちは長崎県公式訪問団として舞台に席が設けられ、両国の国家吹奏、川添会長の挨拶、各関係者の祝辞、長崎県と長崎市からの県人会への助成金贈呈、長崎県人会から訪問団への記念品の贈呈、高齢者表彰をはじめ各種表彰など式典は進められました。

祝賀会やアトラクションでは、鶴田副議長の万歳三唱、出し物として、サンパウロ州立長崎小学校児童による長崎の鐘の合唱をはじめ、太鼓・舞踊・打太刀など多彩な出し物が披露されました。

私たちは、田上市長が祝辞の中で県人会へ龍踊りに使う龍の頭を寄贈することを受け、飛び入りで人間龍踊りを披露、玉使いは田上市長（玉はレモンと割箸）、龍頭は渡辺長崎県議会議長（面は素顔で角は割箸とネクタイ）シンバルは鍋のふた、尾はほうき、など寄せ集めでしたが、皆さんの“もってこーい”の掛け声が何度もかかりました。

最後は、諫早の皿踊り「のんのこ節」を全員でおどりと和気あいあいの中で終了しました。

式典は手作り、アトラクションは日本の文化を継承した出し物、平和を願うコーラスなど、ブラジル長崎県人会の方々の思いが伝わってくる記念式典でした。

### 【記念式典】



## 【祝賀アトラクション】



## 【おわりに】

今回、11日間という長期にわたるブラジル・サンパウロ州の視察でしたが、人生に二度とない貴重な体験をさせて頂きました。

今回の訪問でまず感じたことは、県人会の方々に非常にやさしく接して頂きました。ブラジルという日本の反対側に来たような思いはなく、まるで日本にいるような感覚で視察・交流をさせて頂きました。川添会長様はじめ関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

また、サントス FC でのもてなしには頭が下がる思いです。宿泊先まで事前に届けられたメッセージ入りのスケジュール、少年たちに対する競技場や練習場、移動までの細やかな配慮、どれをとっても素晴らしいものでした。リベイロ会長とスタッフの皆さんに感謝します。